

中野香織先生、

仕事と服装の関係について
教えてください

人と接することが必要とされる
ビジネスの世界では、
身だしなみや清潔感などは最低限のマナーです。
でも、それだけでは何だかつまらない。
自分らしいワークスタイルを見つけるのと同様に、
自分らしい仕事のスタイルも見つけたいものです。
仕事の歴史を学びながら、
自分のスタイルを見つけましょう。

服飾史家・明治大学特任教授
中野香織(なかの かおり)
ファッションの歴史から最新の
モード事情までを網羅し研
究、執筆。東京大学大学院博
士課程単位取得満期退学。著
書に『紳士の名品50』他多数。

subject
I仕事着の
変遷の歴史とは？

今の日本で仕事着として思
い浮かぶのはなんと言っても
男性のスーツだと思います。
スーツの原型をたどると、

19世紀中葉のイギリスで生ま
れたラウンジスーツに行きつ
きます。現代のものに似た形
です。当時は時間と格によっ
て服を着分けており、昼間の
正装としてフロックコート、
昼間の準正装としてモーニン
グコート、夜間の正装として
燕尾服を着るのがマナーでし
た。それ以外の、くつろぎの
場で着る服がラウンジスー
ツだったので。くつろぐため
の服が仕事着に発展していっ
たのは興味深いことです。
ただ、スーツの仕事着とし
ての意味合いはフロックコー
トを受け継いでいます。

19世紀といえば、階級社会
のイギリスで貴族と新興中産
階級が一緒に働くようになった
時代です。みんなが同じよ
うなスーツを着れば、それま
でのように服装による階級の
違いが分からなくなり、階級
を気にせずに仕事をするこ
とができる。この便利さからス
ーツが仕事着として定着して
いきました。

日本に洋装が持ち込まれた
のは、和装が主流だった明治
時代です。当時の仕事着とし
ては男性の紋付き袴が一般的
でしたが、カインドウェアと
いうアパレル会社が礼装のル
ールを定め、広めました。
その際、紋付き袴の黒にち
なんで黒いスーツを推奨した
と考えられます。今、日本の

フロックコート → 現代のスーツ



昼間の正装フロックコートがスーツに



19世紀には昼間の正装は
フロックコート、準正装
はモーニングコート、夜
の正装は燕尾服、と時間
帯で着分けていた。

ビジネススーツの主流が黒な
のは、その流れがあるからで
はないでしょうか？
ただし、スーツを含めた洋

装が日本で一般的になるのは、
第二次大戦後です。男性の仕
事着としてスーツが定着した
のもこの頃でした。



就活中の女性もスーツですね。 それを女性の仕事着の 観点から見ると？

女性のスーツに関しては、1920年代にシャネルが機能的なスーツを作り、60年代にサンローランがタキシード

ルックをデザインして女性が公にパンツスーツを着ることを可能にしました。80年代になると、ジョルジョ・アルマ



黒いスーツが日本の仕事着の定番。1980年代には就活で赤いスーツの女子学生がいたとか。



働き方が多様であるように、仕事のときの服装も本来、多様なはず。その点は海外の女性が進んでいる。ワンピースと上着のセットアップやパンツスタイルも見られる。

「女性が管理職の女性が着るにふさわしい」「女性らしい威厳」のあるスーツを作り、男性と肩を並べて働く女性の進出を後押しします。

その当時、日本ではまだ「女性は制服」という企業も少なくありませんでした。女性の一般職がスーツを着るようになったのは、86年に男女雇用機会均等法が施行された後からのことでした。

日本では女性のビジネススーツは黒が主流ですが、海外では、職種によって異なるものの、男性のビジネススーツの色に準じるネイビーやダークグレーが多いです。白や赤、ブルーなどの例もあります。その他にも、ワンピースに上着をプラスするセットアップ、ワンピース、ブラウスとスカート、もつとカジュアルにセーターとレギンスやパンツスタイルなど、様々な服装を見かけます。ただし、ゆるいイヤリングや過剰なアクセサリはタブーとされています。

advice

就活生や若いビジネスパーソンへの仕事着についてのアドバイスを。

日本のビジネスの世界では、男性も女性も、とかく「無難なスタイル」が推奨されがちですが、そうした中でも好印象を残す服装表現をすることはできるはずですよ。

大事なことは、シャツやブラウスの首周りはゆるすぎず、きつすぎず、ピッタリのサイズのものを探すことです。許される環境であれば、ポケットチーフを挿すなども良いでしょう。

海外出張をする際に気をつけなければならないのは、国や地域によるTPOの違いです。イタリアはビジネスで茶色の靴もOKですが、イギリスではNG…なんていうことがありますから、出張先が決まったら、まずはその地域の文化を予習することから始めましょう。